

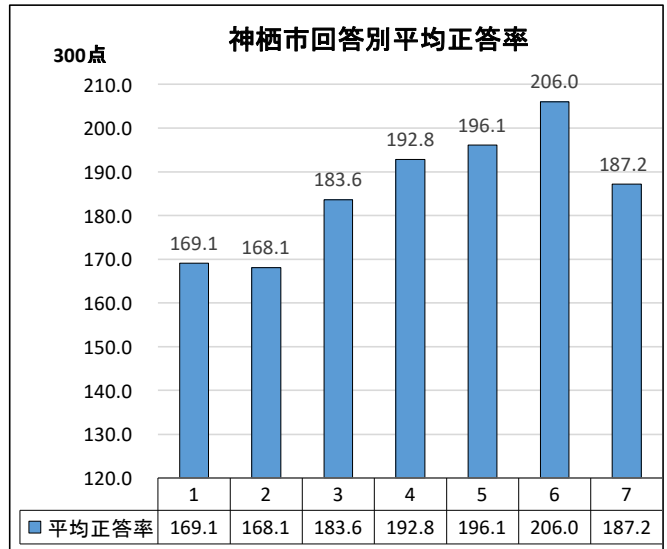
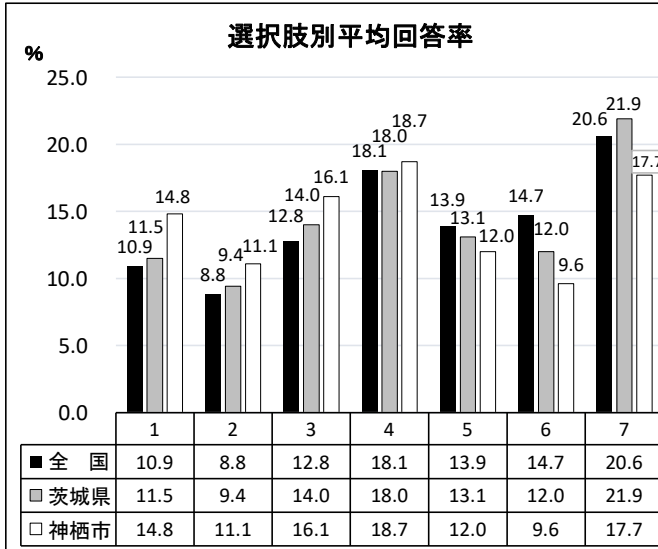
全国学力・学習状況調査の結果から見える学習・生活習慣と学力の関係

質問紙調査分析1[ICT関連](小学校)

【6】 携帯電話、スマートフォンを学習以外で2時間以上使用すると、使用時間が増えるほど正答率が下がる傾向が見られます。

質問 普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。
(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)

【選択肢】1. 4時間以上 2. 3時間以上、4時間より少ない 3. 2時間以上、3時間より少ない 4. 1時間以上、2時間より少ない
5. 30分以上、1時間より少ない 6. 30分より少ない 7. 携帯電話やスマートフォンを持っていない

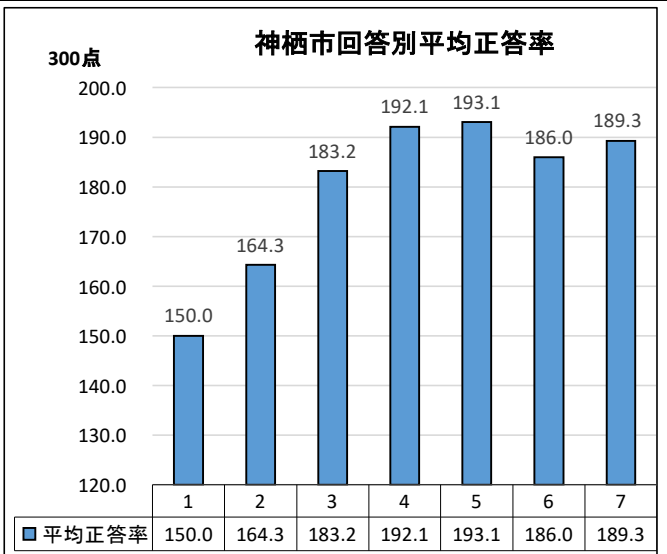
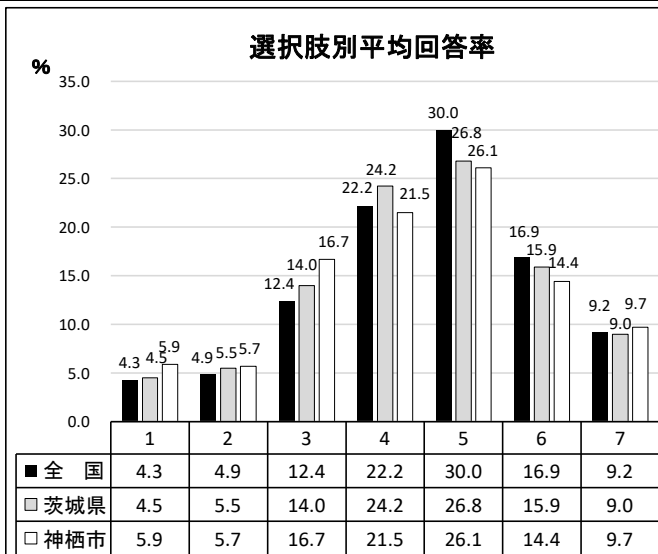


神栖市では、1日あたり4時間以上携帯電話やスマートフォンを利用している児童の割合が、14.8%と高く、全国との差が3.9ポイントあります。また、携帯電話やスマートフォンを、学習以外で2時間以上利用している児童の平均正答率は全国平均を下回っています。携帯電話やスマートフォンの利用時間と学力の関係について広く家庭に伝え、家庭でのルールの中に使用時間等について話し合い、決めていく必要があります。

【37】 ICTを活用して家庭で学習する場合には、活用時間が長いからといって正答率が高くなるとは限りません。

質問 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。

【選択肢】1. 3時間以上 2. 2時間以上、3時間より少ない 3. 1時間以上、2時間より少ない 4. 30分以上、1時間より少ない
5. 30分より少ない 6. 全く使っていない 7. スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を持っていない

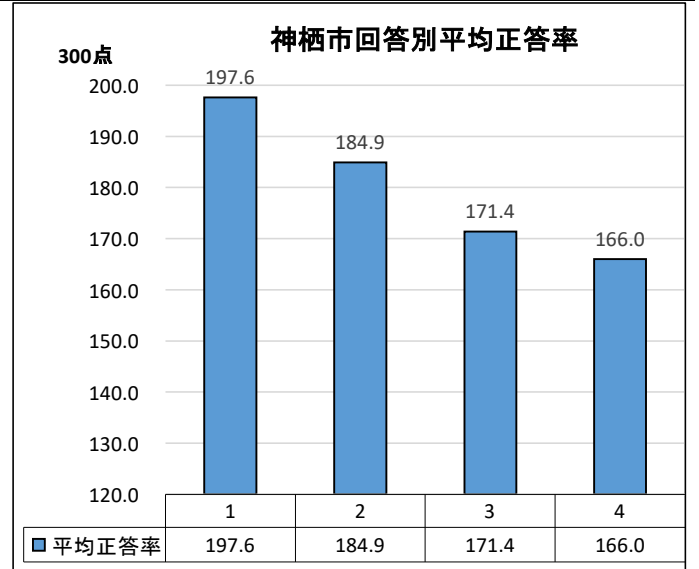
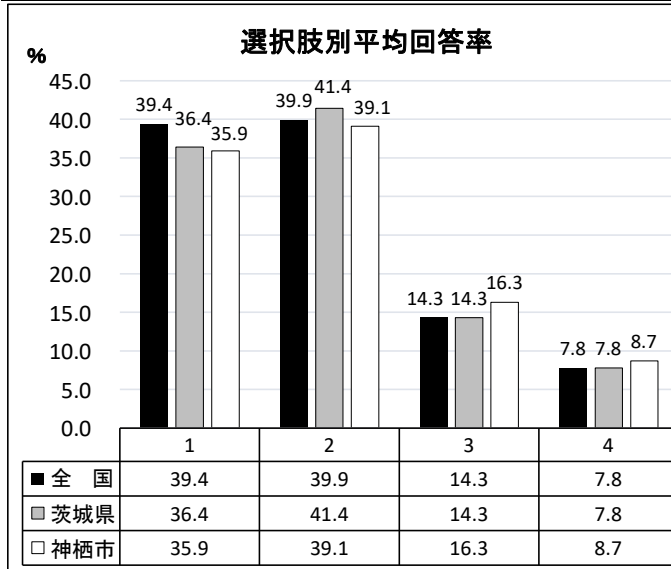


神栖市の児童は、ICT機器を活用して家庭で学習している時間が長い児童の割合が多い傾向にあります。3時間以上が5.9%で全国より1.6ポイント、2時間以上、3時間より少ないが5.7%で0.8ポイント高くなっています。しかしながら、正答率を見ると、2時間以上ICT機器を活用している児童の正答率は2時間より少ない時間活用している児童に比べかなり低くなっています。ICT機器に頼りきることなく、ノートやワークシートといった従来の学習方法と組み合わせることやICT機器を効果的に活用する方法を身に付けていくことが大切です。

質問紙調査分析2[その他](小学校)

【7】 自己肯定感のある児童は、正答率が高い傾向が見られます。

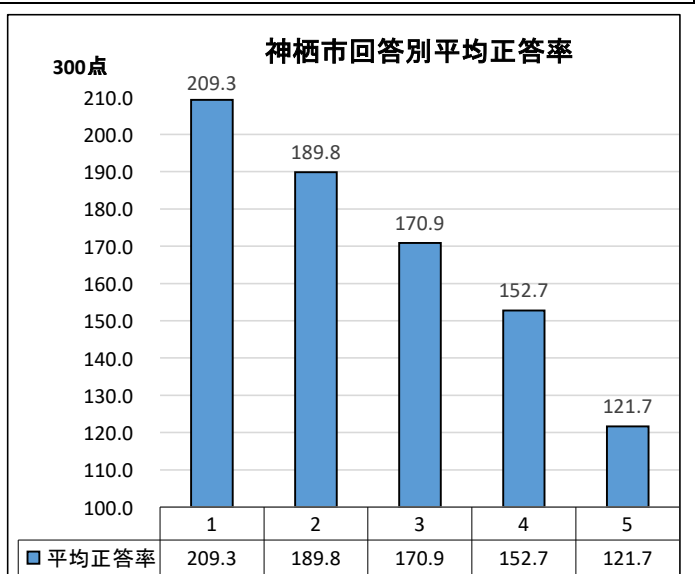
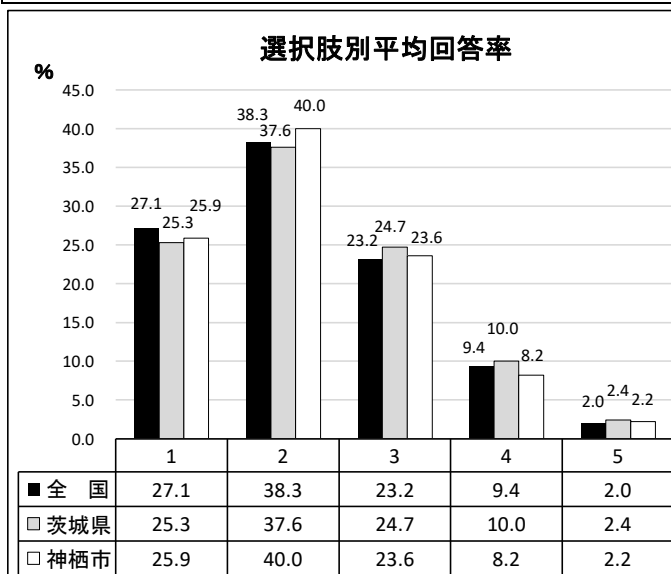
質問 自分には、よいところがあると思いますか。
 【選択肢】 1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない



神栖市の児童は、全国や茨城県と比べると自分を肯定的に答えた割合は低いものの、自己肯定感のある児童の方が正答率は高くなっています。総合的な学習の時間や全教科を通して、キャリア教育等を実践し、自己肯定感を高める活動を進めていく必要があります。

【38】 自分の考えを発表する際、工夫して発表を行う児童は、正答率が高い傾向が見られます。

質問 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。
 【選択肢】 1. 発表していた 2. どちらかといえば、発表していた 3. どちらかといえば、発表していなかった
 4. 発表していなかった 5. 考えを発表する機会がなかった

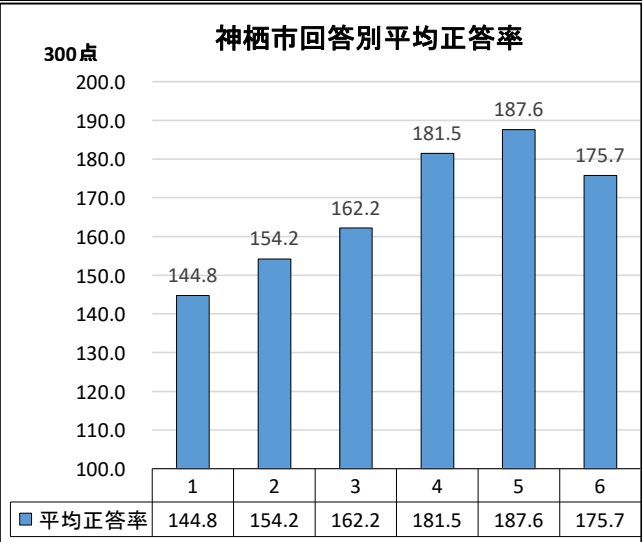
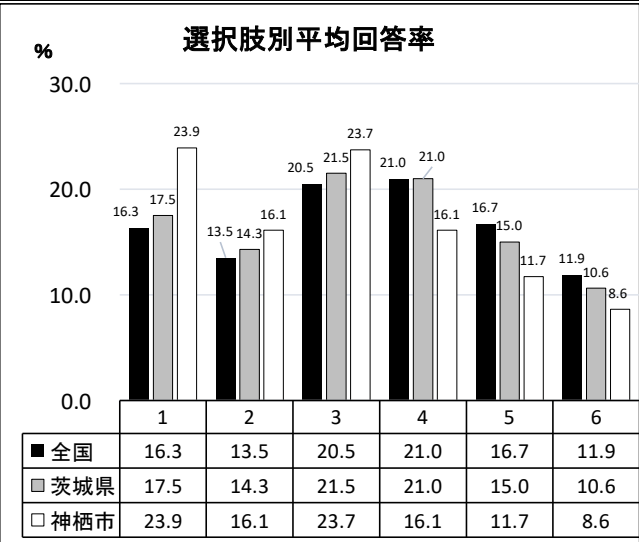


神栖市の児童は、5年生までに受けた授業では、自分の考えを工夫して発表していたと肯定的に答えた割合が高く、正答率も高くなっています。神栖市授業スタイルにより、相手意識をもち、自分の考えを工夫して発表する力が身に付いています。今後は様々な意見から、自分の考えを深めたり、広げたりする活動の充実を図っていく必要があります。

質問紙調査分析1 [ICT関連] (中学校)

【5】 神栖市では、平日にテレビゲームを長時間（2時間以上）する生徒が全国平均よりも多く見られました。長時間ゲームをする生徒は正答率が低い傾向が見られます。一方で、ゲーム時間を1時間以内に抑えている生徒は、平均正答率が高い傾向にあります。

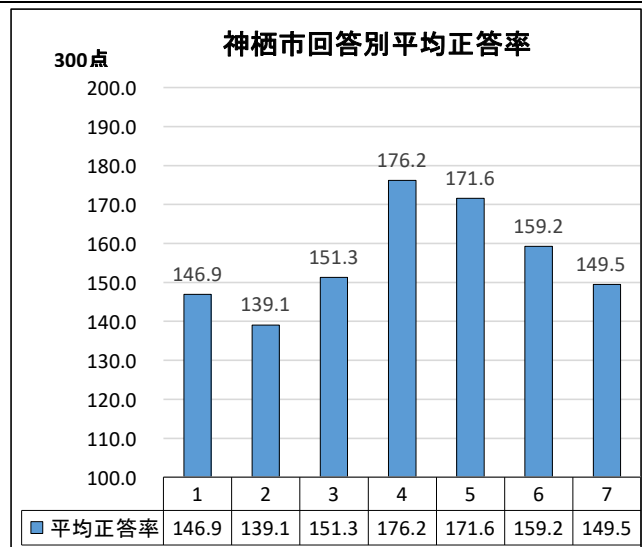
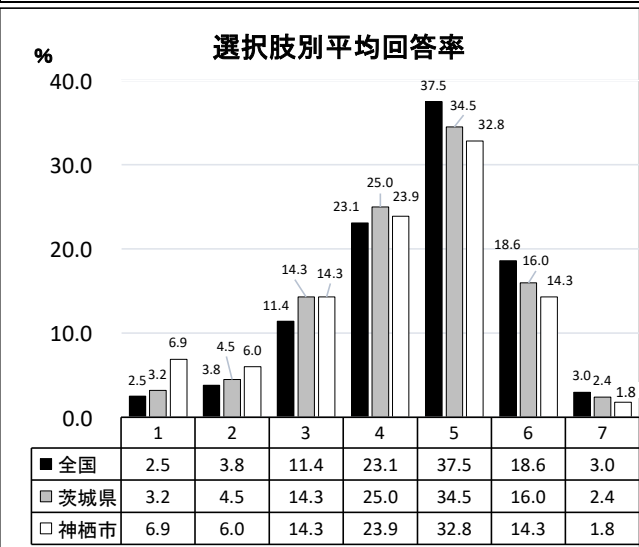
質問 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。
 【選択肢】 1. 4時間以上 2. 3時間以上、4時間より少ない 3. 2時間以上、3時間より少ない
 4. 1時間以上、2時間より少ない 5. 1時間より少ない 6. 全くしない



神栖市の生徒は、1日当たり3時間以上をするという回答が、4割に上り、全国に比べ10.2ポイントも高い結果となりました。また、ゲームを行う時間が長いほど、正答率が低い傾向が見られました。質問【4】「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」の質問に対し、守っていると解答する生徒は81.5%と高く、全国平均より12ポイント高い結果となっています。家庭での約束事に、「使用時間について」の内容があるのかが不明確であったり、生徒自身が自制しながら使用できていなかったりすることが考えられます。

【37】 ICT機器を勉強のために使っている時間が1時間以上となる生徒は、正答率が低くなっている傾向にあります。使用を1時間以内に収めている生徒は正答率が高い傾向にあります。

質問 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。
 【選択肢】 1. 3時間以上 2. 2時間以上、3時間より少ない 3. 1時間以上、2時間より少ない
 4. 30分以上、1時間より少ない 5. 30分より少ない 6. 全く使っていない
 7. スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を持っていない



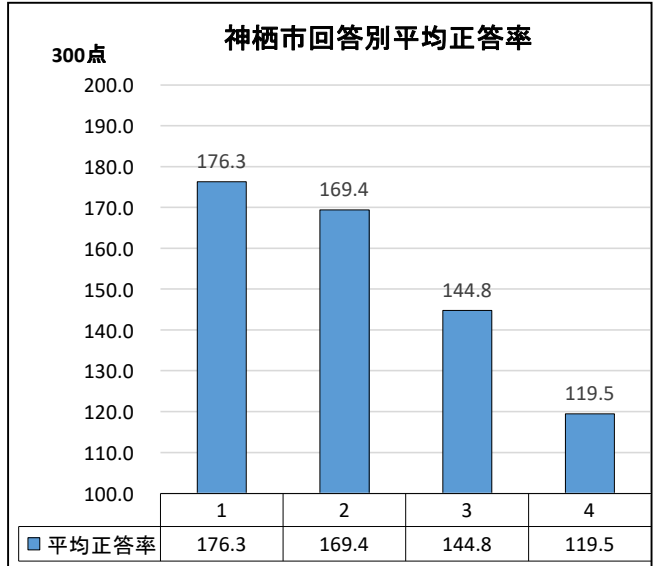
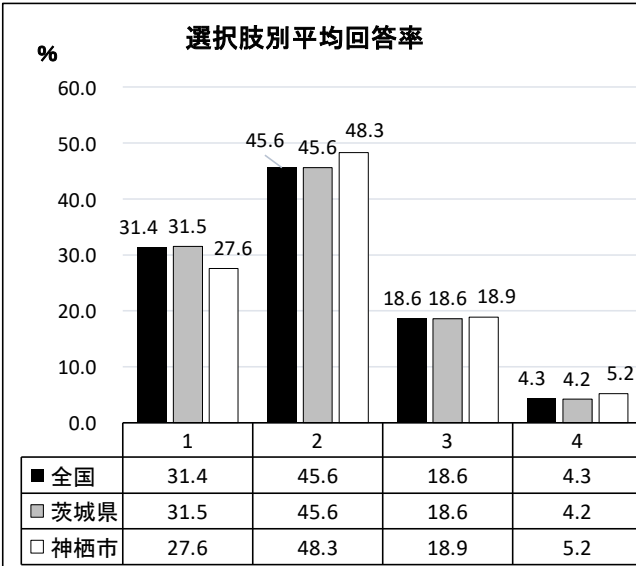
神栖市では、授業においてコンピュータなどのICT機器を積極的に活用しています。家庭での学習においてもICT機器を活用している様子が見られます。しかし、勉強のためにICT機器を長時間(1時間以上)活用する生徒は、正答率が低い傾向にあります。使用が1時間以内の生徒は、正答率が高く、効果的な使い方をしている様子がうかがえます。ICT機器の使用時間や使用方法にメリハリをつけ、学習に取り組むことが成果として繋がっていると考えられます。家庭での学習における効果的なICT機器の使い方について、学校・家庭と連携し考えていく必要があります。

質問紙調査分析2[その他](中学校)

【17】 自分と違う意見について考えるのが楽しいと思う生徒ほど、平均正答率が高い傾向にあります。

質問 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

【選択肢】 1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない

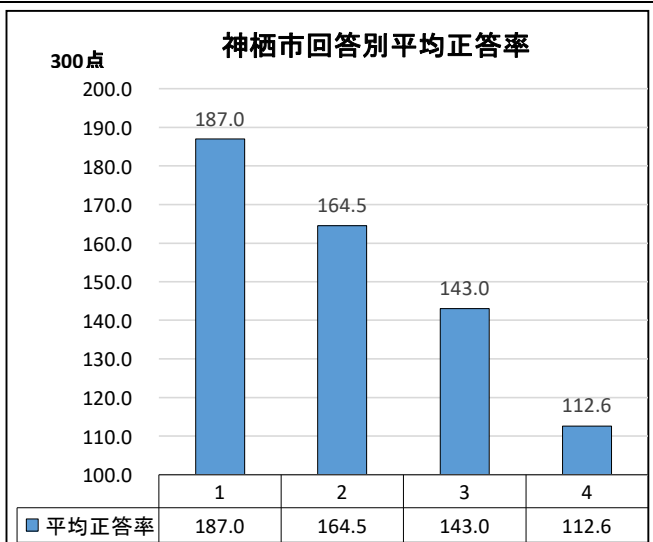
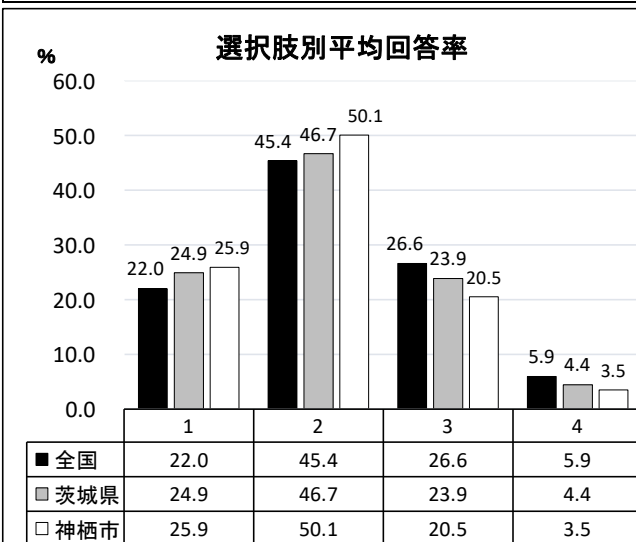


神栖市では、自分と違う意見について考えるのは楽しいと考えている生徒の数は、全国や県の割合を下回っています。平均正答率を考慮しても、異なった意見について前向きに考えることができる生徒ほど、正答率が高いことがわかります。継続してグループや学級全体での話し合い活動を行い、異なった意見について客観的に分析・検証できる批判的思考を身に付ける機会を増やすことが必要であると考えられます。

【40】 各教科などで学んだことを活かしながら自分の考えをまとめる活動を行った生徒ほど、平均正答率が高い傾向にあります。

質問 1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを活かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

【選択肢】 1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない



神栖市の多くの生徒は各教科で学んだことを活かして、自分の考えをまとめる活動を行っています。全国平均よりも8.6ポイントも多くの生徒が活動に取り組んだと答えており、平均正答率もとても高い値になっています。各教科で、授業の振り返りが充実していることがわかります。文章であったり、自己評価等の振り返りやまとめを今後も充実させていくことで、さらなる成長が期待できます。